

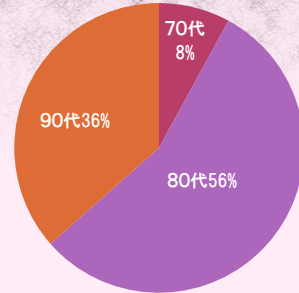
お一人暮らしを支えるために デイサービスでできること



社会福祉法人祥友会
デイサービスセンター太陽の里

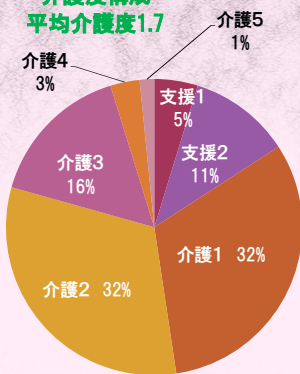
ケアパートナー 斎藤みずほ
生活相談員 高橋 圭

年齢構成 平均年齢 87歳



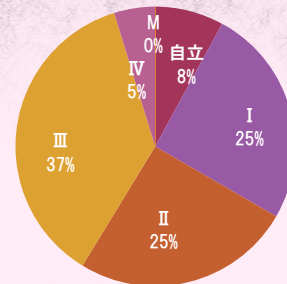
デイサービスセンター太陽の里の現状 (平成28年6月)

介護度構成 平均介護度1.7



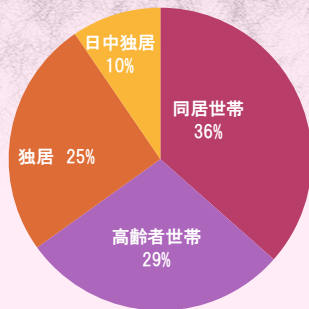
デイサービスセンター太陽の里の現状 (平成28年6月)

認知症高齢者日常生活自立度 要介護認定主治医意見書より



デイサービスセンター太陽の里の現状 (平成28年6月)

生活状況



デイサービスセンター太陽の里の現状 (平成28年6月)

細かなサービスが増えている
職員にとって大きな負担
今の生活が何時まで続けられるか？
どこまで介入すべきか？
デイでそこまでやる必要があるのか？

事例1

「デイサービスの準備ができなくなった」Mさん

- 91歳 女性 独居 日常生活自立度A1・Ⅲa
- 要介護度 3
- 月・水・金 3回/週 利用
- 病歴（認知症・腰痛・視力障害）
- 家族構成 娘2人
 - 長女 神奈川県在住（夫の両親の介護中）
 - 次女 千葉県在住（7時間かけて月1回1泊で介護に通う）

困っている様子が頻繁に見られるようになった

他事業所のヘルパーも困っていた

デイを利用することで困ることをなくしたい

デイで洗濯や荷物の預かりを行うようになった

Mさんの行動を簡単に取り上げない

地域とのつながりを簡単に奪わない
取り上げないことで地域の方にもMさんの
最近の様子を知って頂くことができました

娘に甘えることもなく、周囲にあまえること
もなく「夫と暮らした今の家で自分の人生を
終わらせたい」といつも笑っています

事例2

「毎回、送迎に時間が掛かる」Yさん

- 88歳 女性 独居 日常生活自立度A2・Ⅲa
- 要介護度1
- 月・水・金 3回/週 利用
- 病歴（脳梗塞）
- 家族構成 長男（遠方）・長女（隣町）

デイの車に乗るまで時間がかかる
他の方の送迎もあるため大変困る!!
被害妄想で他のサービスが中止に
嫁いだ娘が通いで介護に通うようになった

Yさんの利用日の朝、職員は大変・・・

今日は何分ぐらいで玄関を出られるかな？

休むって言われたら「休ませちゃおう」

でも「ほっておけない」・・・

……職員も葛藤の日々

妄想はあるが、生活の知恵、
社会性は保たれている

認知症の自覚は全くない

周囲に良いところしか見せない

デイ職員とは 甘えられる関係が築ける

長い時間密に関われるデイだからこそ

ご利用者に耳を傾け、関係者に情報提供

することもデイにできるサービスです

施設内で

- 服薬管理のお手伝い
- モーニングコール
- 早めの受診などの提案・対応
- 散髪
- 他職種への取り次ぎ

ご自宅で

- 戸締り
- 電気・火の元の確認
- 介護相談
- 室温設定

生活支援の不足を補うためではない

- ・「淋しさ」「不安」にいち早く気づく
- ・ 大事にされていると感じて頂く
- ・「見守られている」安心感を与える

精神的癒しが一人暮らしを支え

生きる意欲を持ち続けられると

信じています

サービス提供を通じ得られた成果

- ・自信を持って関わり後悔が少なくなった
- ・在宅生活の学びの場となり職員が成長
- ・事業所の評判が高まった
- ・他事業所と連携強化ができた

今後の課題

- ・介護保険制度内でのサービス提供
- ・他のご利用者への影響
- ・職員の負担軽減の必要性
- ・認知症の一人暮らしをいかに支えて行くか
- ・どこまで介入すべきなのか？

